	アシー	ート 竣工段階		_				
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体·共	重み	住居·宿注 評価点	重み	全体
					係数		係数	3.9
	室内				0.40		-	3.5
1	音環均	·····································		3.5	0.15		-	3.5
Ī	1.1	騒音		3.0	0.40		-	
	1.2	遮音		4.3	0.40		-	
		1 開口部遮音性能	開口部の遮音性能T−2	5.0	0.30		-	
		2 界壁遮音性能	Dr=40	4.0	0.30		-	
		3 界床遮音性能(軽量衝撃源) 4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr=55 Lr=55	4.0	0.20		-	
ŀ	12	4 界床遮音性能(重量衝撃源) 吸音	Lr=95	4.0 3.0	0.20			
2				3.3	0.20			3.3
		室温制御		3.6	0.50		-	0.0
		1 室温	夏期26℃、冬期22℃の室温計画	4.0	0.60		-	
		2 外皮性能		3.0	0.40		-	
		3 ゾーン別制御性			-		-	
-		湿度制御		3.0	0.20		-	
		空調方式		3.0	0.30	•		
3	光·視	琛项 昼光利用		4.0 5.0	0.25		-	4.0
	3.1	1 昼光率		5.0	0.60			
		2 方位別開口		0.0	-		_	
		3 昼光利用設備	光庭を採用、光を導くガラスカーテンウォールの渡り廊下	5.0	0.40		-	
Ì	3.2	グレア対策		4.0	0.30		-	
		1 昼光制御	ブラインド(ブラインドボックス)、庇を計画	4.0	1.00		-	
		照度	設計平均照度(机上面):500Lx以上、750Lx未満	4.0	0.15		-	
		照明制御		3.0	0.25	•	-	
4,		直環境		3.6	0.25		-	3.6
	4.1	発生源対策 「1」 (ルヴェンカ 物質)	 全面的に規制対象外もしくはF☆☆☆☆を採用	4.0	0.50	-	-	
		1 化学汚染物質 2 アスペスト対策	主曲のに成物対象がついない。以及以及は不用	4.0	1.00			
ŀ	42	換気		2.3	0.30			
	7.2	1 換気量		3.0	0.33		-	
		2 自然換気性能		3.0	0.33		-	
		3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33		-	
	4.3	運用管理		4.5	0.20		-	
		1 CO ₂ の監視	空気質を計測できるシステム、空気質管理マニュアルを整備	4.0	0.50		-	
		2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	0.50		-	
		ごス性能			0.30	-	-	4.2
٦,	機能性			4.1	0.40	•	-	4.1
	1.1	機能性・使いやすさ 1 広さ・収納性		4.0	0.40	-	-	
		2 高度情報通信設備対応	-					
		3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満足	4.0	1.00		_	
Ī	1.2	心理性・快適性		3.5	0.30		-	
		1 広さ感・景観		2.0	0.50		-	
		2 リフレッシュスペース			-		-	
		3 内装計画	建物コンセプトに基づいた内装計画の取組がある	5.0	0.50		-	
	1.3	維持管理		5.0	0.30		-	
		1 維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した内外装計画を実施。 - 維持管理に配慮した施設機能を確保している	5.0	0.50		-	
		2 維持管理用機能の確保	推行官理に配慮した他政権能を維休している	5.0	0.50		-	
2	耐田	3 衛生管理業務 生・信頼性		4.6	0.30			4.6
		TIANE 耐震·免震		5.0	0.50		-	7.0
		1 耐震性	時刻歴応答解析において層間変形角は基準の1.5倍以上としている	5.0	0.80		-	
		2 免震・制振性能	免震装置を採用	5.0	0.20		-	
	2.2	部品・部材の耐用年数		4.5	0.30		-	
		1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3相当のコンクリートの採用	5.0	0.20		-	
		2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	PCカーテンウォール、アルミカーテンウォールの採用	5.0	0.20		-	
		3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:タイルカーペット、壁:EP塗装、天井:岩綿吸音板	5.0	0.10		-	
		3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 4 空調換気ダクトの更新必要間隔	k:タイルカーペット、壁:EP塗装、天井:岩綿吸音板 厨房排気等:SUS、屋外ダクト:ガルバリウムダクト 冷媒管:銅管→C、排水管:VP→B、給水管:VLP→B	5.0 4.0 5.0	0.10 0.10 0.20		- -	

	2.4 信頼性		4.0	0.20		-	
	1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
	2 給排水・衛生設備	節水型水栓器具を採用、汚水槽設置、便所洗浄水への井水利用	4.0	0.20		-	
	3 電気設備	非常用発電機、二回線受電、キュービクル等は屋上設置	4.0	0.20		-	
	4 機械·配管支持方法	Sクラス	5.0	0.20		-	
	5 通信・情報設備	サーバーへUPS設置	4.0	0.20		_	
- 2			4.0	0.30		-	4.0
l °							4.0
	3.1 空間のゆとり	mt = 4.0	4.6	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高: 4.0m	5.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ	■ 壁長さ比率:0.2	4.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり	設計床荷重: 2900N/m ²	4.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.6	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性	PS等により構造部材を痛めず修繕、更新が可能	4.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性	既存のラックに入線すれば構造材・仕上材を痛めず更新が可能	5.0	0.10		_	
	4 通信配線の更新性	既存のラックに入線すれば構造材・仕上材を痛めず更新が可能	5.0	0.10			
		成件のフラフトに入場するのを構造的 は工物を構めす 更初から能	3.0	0.10			
	5 設備機器の更新性					-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	4.1
1	生物環境の保全と創出		3.0	0.30		-	3.0
2	? まちなみ・景観への配慮	景観届や緑化による景観への配慮を実施	5.0	0.40		-	5.0
	3 地域性・アメニティへの配慮		4.0	0.30	-	-	4.0
I ,	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1Fピロティなどの空間提供や中庭による中間領域の形成を実施	5.0	0.50	_	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	- , , see I we let up the property to the control of the property to the control of the contr	3.0	0.50			
LB			5.0	0.00			2.0
	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.6
LR1	1 エネルギー		_	0.40	-	-	3.7
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.927	3.6	0.20	-	-	3.6
	2 自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
	3 設備システムの高効率化	BEI 非住宅 住宅(専有部) —	3.9	0.10			3.9
3		BEI 非任毛 任毛(専有部) — BEI=0.91			-		3.9
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	DEI-U.91	3.9	1.00		-	
	集合住宅の評価(3c)			-		-	
4	効率的運用		4.0	0.20	•	-	4.0
	集合住宅以外の評価		4.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	中央監視により用途別のエネルギー消費量を把握	4.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制	エネルギー運用管理体制が組織化、管理方針を整備	4.0	0.50		-	
	集合住宅の評価			_		-	
	4.1 モニタリング	7		_			
	4.1 モータリング 4.2 運用管理体制						
LEC				0.00			0.0
	2 資源・マテリアル		_	0.30	-	-	3.9
					.		
- 1	水資源保護		3.8	0.20	-	-	3.8
1	水資源保護	水栓器具の過半に節水器具を使用	3.8 4.0	0.20	-	-	3.8
1		水栓器具の過半に節水器具を使用	_		-	- - -	3.8
1	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用		4.0	0.40	-	- - -	3.8
1	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無	井水利用を実施	4.0 3.7 4.0	0.40 0.60 0.70	-	- - - -	3.8
	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有	井水利用を実施	4.0 3.7 4.0 3.0	0.40 0.60 0.70 0.30	-	- - -	
	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有: 2 非再生性資源の使用量削減	井水利用を実施	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60	-		4.0
	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 推排水等利用システム導入の有 2 非再生性資源の使用量削減 2.1 材料使用量の削減	井水利用を実施	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 4.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60	-	- - -	
	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 非再生性資源の使用量削減 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用	井水利用を実施 無 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22	-	- - -	
	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	井水利用を実施 無 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22		- - -	
	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	井水利用を実施 無 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22		- - -	
	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	井水利用を実施 無 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 引 見 天井:岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 5.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22		- - -	
2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有 2.1 材料使用量の削減 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使け 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	井水利用を実施 無 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 引 見 天井:岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 5.0 - 5.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 - 0.22		- - -	4.0
2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	井水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 現 現 現 現 表井:岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 5.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22	-	- - -	
2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有 2.1 材料使用量の削減 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使け 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	井水利用を実施 無 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 引 見 天井:岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 5.0 -	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 - 0.22		- - -	4.0
2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 推排水等利用システム導入の有無 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使月 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使見 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組 3 汚染物質含有材料の使用回避	井水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 現 現 現 現 表井:岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 4.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.22	-	- - -	4.0
2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	井水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 現 現 現 現 表井:岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 5.0 5.0 4.0 5.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.22 0.20	-	- - -	4.0
2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	井水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 アチ: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 5.0 - 5.0 4.0 3.0 3.0 5.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 - 0.22 0.22 0.20 0.30		- - -	4.0
2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2.1 材料使用量の削減 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使月 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組 3 汚染物質含有材料の使用回避 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等)	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 表井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 - 5.0 4.0 4.0 4.0 4.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.22 0.22 0.30 0.70 0.33 0.33		- - -	4.0
3	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 表井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 5.0 - 5.0 4.0 4.0 4.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33	-		4.0
3	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使月 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使月 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組 3.7 京集物質含有材料の使用回避 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 3 敷地外環境	井水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 現在 大井: 岩綿吸音板、床: ビニル床シート、床: OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≤50の断熱材を採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 4.0 4.0 3.0 5.0 4.0 4.0 5.0 4.0 5.0 5.0 4.0 5.0 5.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.70 0.33 0.33 0.33		-	4.0
3 LR3 1	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 表井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 4.0 4.0 3.6 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33	-		4.0
3 LR3 1	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	井水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 現在 大井: 岩綿吸音板、床: ビニル床シート、床: OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≤50の断熱材を採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 4.0 4.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 4.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33			4.0
3 LR3 1	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	井水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 現在 大井: 岩綿吸音板、床: ビニル床シート、床: OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≤50の断熱材を採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 4.0 4.0 3.6 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33		-	4.0
3 LR3 1	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	井水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 現在 大井: 岩綿吸音板、床: ビニル床シート、床: OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≤50の断熱材を採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 4.0 4.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 4.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33			4.0
3 LR3 1	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	井水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 現在 大井: 岩綿吸音板、床: ビニル床シート、床: OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≤50の断熱材を採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 5.0 - 5.0 4.0 5.0 4.0 3.0 3.0 5.0 - 5.0 4.0 3.0 3.0 5.0 - 5.0 - 5.0 4.0 3.0 3.0 5.0 - 5.0 4.0 3.0 5.0 5.0 4.0 3.0 5.0 4.0 3.0 5.0 4.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33			4.0
3 LR3 1	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使け 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組 3 汚染物質含有材料の使用回避 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 地球温暖化への配慮 2 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善	井水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 現在 大井: 岩綿吸音板、床: ビニル床シート、床: OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≤50の断熱材を採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 5.0 - 5.0 4.0 4.0 3.0 5.0 - 5.0 4.0 3.0 3.0 5.0 - 5.0 - 5.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33			4.0
3 LR3 1	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	井水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 現在 大井: 岩綿吸音板、床: ビニル床シート、床: OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≤50の断熱材を採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 4.0 5.0 4.0 3.6 4.0 3.0 3.6 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.35 0.55 0.50			4.0
3 LR3 1	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井:岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 5.0 5.0 5.0 4.0 4.0 4.0 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25			4.0
3 LR3 1	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用 LCCO2排出率:92% 駐輪場を整備し、建物周辺に共用駐車場を整備	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 4.0 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 5.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 4.0 5.0 4.0 5.0 4.0 5.0 4.0 5.0 4.0 5.0 5.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25			4.0
3 LR3 1 2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使け 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組 3 汚染物質含有材料の使用回避 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 地球温暖化への配慮 2 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.5 大気汚染防止 2.6 高水排水負荷低減 「汚水処理負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 ドオルサート 2 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井:岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 5.0 	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25			4.0 4.0 3.2 3.3 3.1
3 LR3 1 2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料以外におけるリサイクル材の使月 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使月 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組 3.7 東物質含有材料の使用回避 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 地球温暖化への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 2 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 周辺環境への配慮	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用 LCCO2排出率:92% 駐輪場を整備し、建物周辺に共用駐車場を整備	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.35 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33			4.0
3 LR3 1 2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用 LCCO2排出率:92% 駐輪場を整備し、建物周辺に共用駐車場を整備	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 4.0 5.0 3.6 4.0 3.0 3.1 3.0 3.7 3.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			4.0 4.0 3.2 3.3 3.1
3 LR3 1 2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用 LCCO2排出率:92% 駐輪場を整備し、建物周辺に共用駐車場を整備	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			4.0 4.0 3.2 3.3 3.1
3 LR3 1 2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用 LCCO2排出率:92% 駐輪場を整備し、建物周辺に共用駐車場を整備	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 4.0 5.0 3.6 4.0 3.0 3.1 3.0 3.7 3.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			4.0 4.0 3.2 3.3 3.1
3 LR3 1 2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料以外におけるリサイクル材の使け 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 地球温暖化への配慮 2 地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.1 大気汚染防止 3 防水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 残強 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 1 脈音 2 振動 3 悪臭	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用 LCCO2排出率:92% 駐輪場を整備し、建物周辺に共用駐車場を整備	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			4.0 4.0 3.2 3.3 3.1
3 LR3 1 2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 3 敷地外環境 地球温暖化への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用 LCCO2排出率:92% 駐輪場を整備し、建物周辺に共用駐車場を整備	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 4.0 5.0 4.0 3.0 3.6 4.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.35 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.2			4.0 4.0 3.2 3.3 3.1
3 LR3 1 2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用 LCCO2排出率:92% 駐輪場を整備し、建物周辺に共用駐車場を整備	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			4.0 4.0 3.2 3.3 3.1
3 LR3 1 2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 3 敷地外環境 地球温暖化への配慮 2.1 大気汚染防止 2.2 温熱環境悪化の改善 2.3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用 LCCO2排出率:92% 駐輪場を整備し、建物周辺に共用駐車場を整備	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 4.0 5.0 4.0 3.0 3.6 4.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.35 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.2			4.0 4.0 3.2 3.3 3.1
3 LR3 1 2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用 LCCO2排出率:92% 駐輪場を整備し、建物周辺に共用駐車場を整備	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 4.0 5.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.35 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.2			4.0 4.0 3.2 3.3 3.1
3 LR3 1 2	1.1 節水	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 天井: 岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用 LCCO2排出率:92% 駐輪場を整備し、建物周辺に共用駐車場を整備	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 4.0 5.0 3.6 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			4.0 4.0 3.2 3.3 3.1
3 LR3 1 2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法 大井:岩綿吸音板、床:ビニル床シート、床:OAフロア 分別が容易なLGS壁工法、再利用可能なOAフロアの採用 PRTR法該当の有害物質を含まない材料を5種類採用 不活性ガス消火設備(窒素)を採用 ODP=0、GWP≦50の断熱材を採用 LCCO2排出率:92% 駐輪場を整備し、建物周辺に共用駐車場を整備 ごみ種類別に発生量を推計、ゴミ置場や回収容器を設置	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			4.0 4.0 3.2 3.3 3.1
3 LR3 1 2	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用	#水利用を実施 機械式継手による鉄筋量削減、PC板、FT-PILE工法	4.0 3.7 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 4.0 4.0 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 5.0 4.0 3.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0 3.0 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.40 0.60 0.70 0.30 0.60 0.11 0.22 0.22 0.22 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			4.0 4.0 3.2 3.3 3.1